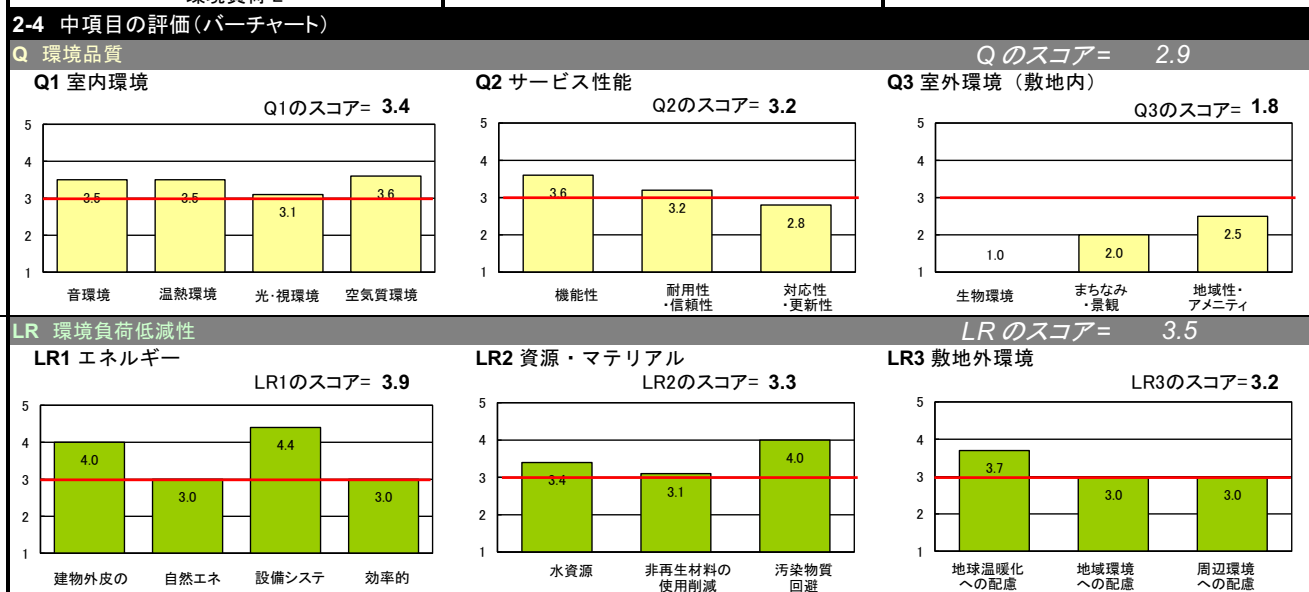
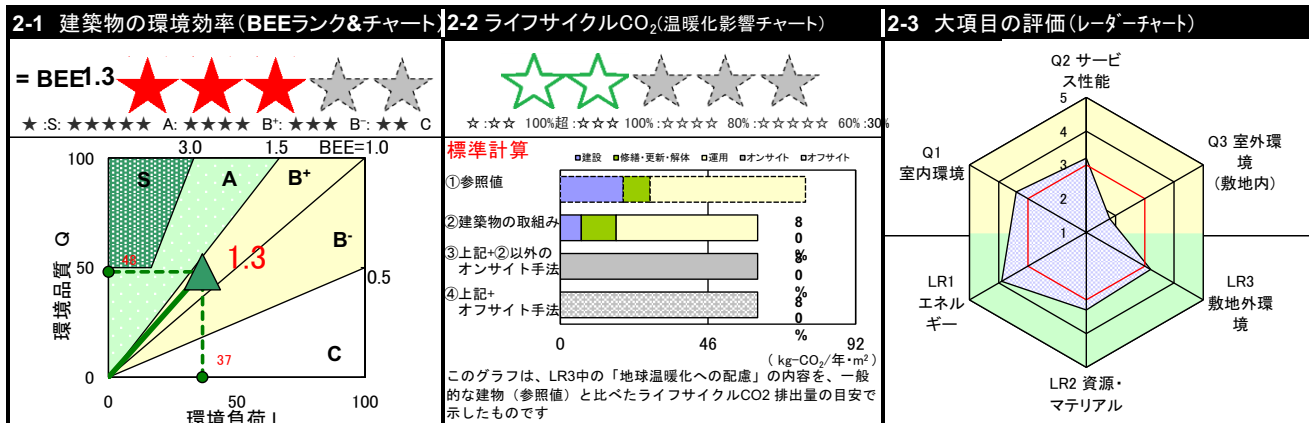


# CASBEE® 名古屋

■使用評価マニュアル: CASBEE-運用(第2019年版、名古屋中核都市環境情報創造推進マニュアル2019) 使用評価ソフト: CASBEE\_Nagoya\_2016(v3.0)

## 評価結果

| 1-1 建物概要 |                       | 1-2 外観 |                 |
|----------|-----------------------|--------|-----------------|
| 建物名称     | (仮称)中区栄二丁目プロジェクト 新築工事 | 階数     | 地上15F地下1F       |
| 建設地      | 愛知県名古屋市中区栄二丁目1613番    | 構造     | RC造             |
| 用途地域     | 商業地域、防火地域             | 平均居住人員 | 194 人           |
| 地域区分     | 6地域                   | 年間使用時間 | 8,760 時間/年(想定値) |
| 建物用途     | 集合住宅                  | 評価の段階  | 実施設計段階評価        |
| 竣工年      | 2023年2月 予定            | 評価の実施日 | 2021年1月5日       |
| 敷地面積     | 572 m <sup>2</sup>    | 作成者    |                 |
| 建築面積     | 352 m <sup>2</sup>    | 確認日    | 2021年1月6日       |
| 延床面積     | 4,409 m <sup>2</sup>  | 確認者    |                 |



| 3 設計上の配慮事項   |                                           |                                         |
|--------------|-------------------------------------------|-----------------------------------------|
| 総合           | 節湯器具、節水型トイレ、品確法の取得を積極的に採用し、省エネルギー環境に配慮した。 | その他<br>特に無し。                            |
| Q1 室内環境      | シックハウス対策としてF☆☆☆☆を全面的に採用。                  | Q3 室外環境(敷地内)<br>緑化率10%以上確保し、自然との調和を図った。 |
| LR1 エネルギー    | 品確法 省エネルギー対策等級4を取得予定。                     | LR3 敷地外環境<br>屋上広告を一切なくし、公害対策に配慮した。      |
| Q2 サービス性能    | 品確法 維持管理対策等級2を取得予定。                       |                                         |
| LR2 資源・マテリアル | 節水型トイレを採用。                                |                                         |

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと

■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

## 重点項目スコア・結果シート

(仮称) 中区栄二丁目プロジェクト 新築工事

■使用評価マニュアル:

CASBEE-建築(新築)2016年版、名古屋市建築物環境配慮制度運用マニュアル:

■評価ソフト:

CASBEE\_Nagoya\_2016(v3.0)

| 重点項目     |                 | 評価  | 全体に対する重み係数 | 重点項目スコア |
|----------|-----------------|-----|------------|---------|
| 1. 温暖化対策 |                 |     |            | 3.8     |
| LR1      | エネルギー           | 3.9 | 0.4        |         |
| LR3.1    | 地球温暖化への配慮       | 3.7 | 0.1        |         |
| LR3.2.2  | 温熱環境悪化の改善       | 3.0 | 0.05       |         |
| 2. 自然共生  |                 |     |            | 1.3     |
| Q3.1     | 生物環境の保全と創出      | 1.0 | 0.09       |         |
| Q3.3.1   | 地域性への配慮、快適性の向上  | 無   | 0.009      |         |
| Q3.2     | まちなみ・景観への配慮     |     |            |         |
| Q3.3.2   | 敷地内温熱環境の向上      | 2.0 | 0.045      |         |
| 3. 循環型社会 |                 |     |            | 3.2     |
| LR2.1    | 水資源保護           | 3.4 | 0.06       |         |
| LR2.2    | 非再生性資源の使用量削減    | 3.1 | 0.18       |         |
| LR3.2.3  | 地域インフラへの負荷抑制 ※2 | 3.0 | 0.01875    |         |

## 結果

## 1. 温暖化対策

評価点 = 3.8



## 2. 自然共生

評価点 = 1.3



## 3. 循環型社会

評価点 = 3.2



重点項目のスコアは以下のように算出している。

$$\text{重点項目スコア} = \frac{(\text{評価点} \times \text{全体に対する重み}) \text{の総和}}{\text{全体に対する重みの総和}}$$

※1 ここでは、Q3. 3. 1の評価する取組みのうち評価項目 1 2) 地域性のある材料の使用 又は、Q3. 2において評価する取組みのうち評価項目 4) 地域性のある素材による良好な景観形成 のいずれかでポイントがある場合は「有」、ない場合は「無」を評価とした。重点項目スコアの算出における評価点は評価「有」の場合は5、「無」の場合は1とし、重みはQ3. 3. 1の全体に対する重みに0. 2を乗じたものとしている。

※2 ここでは、LR3. 2. 3のうち、LR3. 2. 3. 3 交通負荷抑制 を除いたもので評価点及び全体に対する重み係数を算出している。したがって、ここでの評価点はスコアシートにおけるLR3. 2. 3の評価点とは異なるものである。